

みずほCustomer Desk Report 2025/10/06号(As of 2025/10/03)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	147.41
TKY 9:00AM	147.16	1.1725	172.60	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	147.82	1.1759	173.22	1.3440	0.6599
SYD-NY Low	147.08	1.1716	172.60	1.3488	0.6614
NY 5:00 PM	147.45	1.1745	173.15	1.3430	0.6590
				1.3470	0.6600
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	46,758.28	238.56	日本2年債	0.9400%	▲0.0100%
NASDAQ	22,780.51	▲ 63.54	日本10年債	1.6600%	0.0000%
S&P	6,715.79	0.44	米国2年債	3.5749%	0.0371%
日経平均	45,769.50	832.77	米国5年債	3.7141%	0.0433%
TOPIX	3,129.17	41.77	米国10年債	4.1192%	0.0355%
シカゴ日経先物	46,100.00	925.00	独10年債	2.6990%	0.0012%
ロンドンFT	9,491.25	63.52	英10年債	4.6880%	▲0.0215%
DAX	24,378.80	▲ 43.76	豪10年債	4.3200%	▲0.0060%
ハンセン指数	27,140.92	▲ 146.20	USDJPY 1M Vol	8.66%	▲0.41%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	8.84%	▲0.28%
NY金	3,908.90	40.80	USDJPY 6M Vol	9.14%	▲0.14%
WTI	60.88	0.40	USDJPY 1M 25RR	▲0.74%	Yen Call Over
CRB指数	299.36	1.03	EURJPY 3M Vol	7.27%	▲0.28%
ドルインデックス	97.72	▲ 0.12	EURJPY 6M Vol	7.89%	▲0.16%

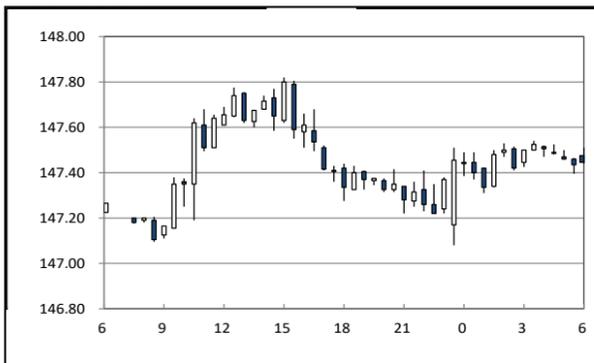
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月3日	08:30	日 失業率	8月 2.6%	2.4%
	15:45	仏 鉱工業生産(前月比/前年比)	8月 -0.7%/0.4%	0.3%/0.6%
	15:45	仏 製造業生産(前月比/前年比)	8月 -0.7%/0.5%	0.3%/-
	16:55	独 サービス業/コンポジットPMI・確報	9月 51.5/52.0	52.5/52.4
	17:00	欧 サービス業/コンポジットPMI・確報	9月 51.3/51.2	51.4/51.2
	18:00	欧 PPI(前月比/前年比)	8月 -0.3%/-0.6%	-0.1%/-0.4%
	22:45	米 サービス業/コンポジットPMI・確報	9月 54.2/53.9	53.9/53.6
	23:00	米 ISM非製造業景況指数	9月 50.0	51.7

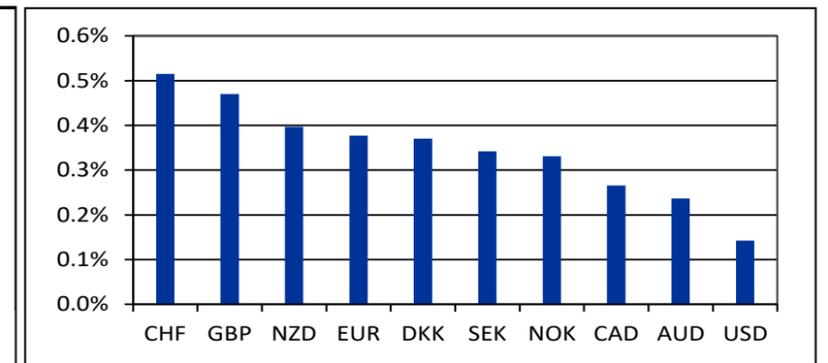
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月6日	18:00	欧 小売売上高(前月比)	8月 0.1%	-0.5%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	148.50-150.20	1.1690-1.1750	174.00-175.80

【マーケット・インプレッション】

本日のドル円は上値を試す展開を想定。先週末の自民党総裁選結果を受け高市トレードが再開し、週初オセアニア時間から先週末NYクローズ比2円以上円安方向となるギャップオープンとなり、茲許レジスタンスとして意識されていた日足雲の上限や200日線を軒並みブレイク。9/26以来の高値149.96や節目150.00が射程圏内となっている。日経先物の大幅上昇や債券市場でのツイストスティープ期待を踏まえれば、本日東京時間についても円売り圧力が続きやすいだろう。一方、米国サイドは、政府閉鎖の影響で3日発表予定であった9月雇用統計が延期される中、9月ISM非製造業景況指数や雇用指数は減速感を示しており、今月FOMCでの利下げ期待は根強い。連邦政府職員解雇の影響も含め雇用情勢の一段の悪化懸念からドルの弱含みは続くと思われる。ドル円は約2週間ぶりの高値水準に利益確定売りも相応に予想され、150円アッパーでの滞空時間は比較的短いと考える。

東京	東京時間のドル円は147.16レベルでオープン。植田日銀総裁が直近の日銀メンバー対比ややハ派な見方を示したことから円が売られて以降147円後半で推移。その後は動意なく推移し、結局147.59レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	欧州時間のドル円は147.59レベルでオープン。米国政府の閉鎖により米ドルは引き続き弱含み、147.22から147.68の間で取引された後、ニューヨーク市場に147.28レベルで引き継がれた。英国の9月サービス業PMIは予想の51.9を下回り、50.8となった。速報値からの大幅な修正にもかかわらず、市場の反応は限定的であった。
ニューヨーク	NY市場のドル円は午前中に発表された米9月ISM非製造業景況指数が予想を下回ると、発表後は147.08まで売られるも、その後は米金利の上昇に伴い147.50付近まで戻す。午後は週末を控える中、147.40付近を挟んだ方向感乏しい推移が続き、147.45レベルでクローズ。一方、ユーロドルは先述の低調な米経済指標の結果を受け、1.1759まで上昇するも、その後は米金利の上昇に伴った買いが重しとなり、1.1740付近まで反落。午後は1.1740付近を中心とした推移が続き、1.1745レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。